

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和4年6月16日(木)
会議時間 15時25分開会 16時24分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：中島里司 副委員長：山下清美
委員：鈴木孝寿、口田邦男、高橋政悦
議長：桜井崇裕
- 4 事務局 事務局長：田本尚彦、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会報告会と町民との意見交換会について
(2) 議会モニター会議について
(3) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

委員長（中島里司）：本会議、一般質問、そして全員協議会、大変お疲れだと思う。その中であってこれから議会運営委員会を開会する。議件についてはお手元にあるとおりである。順次協議させていただく。まず（1）議会報告会と町民との意見交換会についてであるが、終了後、全員協議会で反省総括を行うとされており、その前段として議会運営委員会で議会報告会を振り返ってまとめておく必要があるため、配布している振り返り項目に各委員の意見、感想を聞き1項目ごとに相対的に取りまとめを行いたいと思う。また、当日の意見、提言等の聴取で出された具体的な事項については後日所管する委員会の振り分け、議会運営委員会が所管する事項を改めて協議を行うこととしたい。それでは1項目目の振り返り項目ということで、順番に行いたい。開催日時を従来の日時、5月に戻したということであるが、この開催日時についてはどのように感じられたか特に意見があればお聞きしたい。

（「特になし」の声あり）

委員長：次に開催場所、会場は御影と清水地区それぞれ密にならないようにということで大集会室で開催した。あの開催の仕方についてはいかがか。

（「特になし」の声あり）

委員長：次に会場配置、担当議員と町民を対面にスクール形式、他の議員は町民の後方であったが、これについてもいかがか。

（「特になし」の声あり）

委員長：次に班編成、役割分担、これについては特に何か感じたものはあるか。

（「特になし」の声あり）

委員長：次に周知方法、お知らせ版4月、団体への案内5月9日、議会日より5月、新聞折り込み5月で実施した。これらについてご意見があればいただきたいと思う。

（「特になし」の声あり）

委員長：次に次第であるが、議会報告、質疑応答、テーマに基づく意見交換、その他ということを進めた。これらについて何か意見あるか。

鈴木委員：テーマに基づくといっても、なかなかテーマにたどり着いているのかよくわからない状態が2か所ともあって、進め方も含めていろいろな事を考えていくと、昨年の11月に開催したものを引きずる場面もあったので、結論としてあのような質問を受けてもどうにもならない。例えば何で否決したのかと言われても。この開催自体を根本から考えないとダメかなという気はしている。質疑応答も政治的な質疑が多すぎてどうかと思う気がするので、テーマに基づくといってもなかなかテーマにたどり着かなかったというのがあるので、これについては改善の余地があるかと思う。

委員長：お集まりいただいている方が色んな考えを持っているわけだから、いろんな意見はありがたいことだと思うが、議会としての報告会、意見交換という部分はそこまで到達していないということで、何か工夫をする必要があるのではなかという意見だが、どのような方法があるか、他にも意見があればお聞きしたい。

鈴木委員：議会報告会の開催要領があるので、それを直さない限りはこのままやることになるけれども、もしやるとするならば、それこそ数を増やして例えば商工団体、農業団体、農協の青年部、女性部、もう少し専門的にやったほうが逆にいいのかと、各種団体を渡り歩くではないが、PTAとやるとか、様々な団体と意見交換会、議会報告は本当に必要なのだろうかというところが、必要なのだろうかでもやり方を変えていかないと前向きな意見は出ないという気はする。今回は特に御影で澤山さんが色んな質問してくれたが、なかなかいい質疑が多かったので、そういう部分を活かした部分に特化していったほうがいいのかという気はしている。

口田委員：議会もそうだけれども執行側にもやってほしい。執行側が先にやらなければならないこと。細かくやれば生の本当の声が聞けるが、それをやるのは大変。過去

にやったことがある。議会ではないけれども三丁目でやっているが、最初、駅のところでやった。商工会の役員や色んな人呼んでやった経過があるけども生の声が聞けていいことだ。

委員長：口田委員から意見が出たが、冒頭で執行側が云々というのは委員会でそれを巻き込んで云々ということにはならないので、議会として議員としてということで対策等お願いしたいと思う。他に何か意見ないか。

高橋委員：流れとして、来年の新しい議員さんたちに申し伝えるのであれば、御影が特にだけれども建設的な意見があったりして、その意見を拾い上げたうえで、今回たまたま子育てに関して豊橋市に視察に行ったものを持ち帰って、その意見交換会で出たグループと更に話をして中身を深めたりできたらというような流れさえ作れば、それと同じように各委員会で大きな意見交換会の場でネタを拾っての所管事務調査なんなりにつなげてもいいし、そういう流れができればもっと深まるし、町民との距離も縮まってわかりやすくなるだろうというような気がしている。

委員長：高橋委員の意見があった。山下委員、意見があれば伺いたい。

山下委員：色んなところから意見が聞けるということはよかった。総務産業の報告書を見たら各団体の生の意見を報告されていたという部分で、どういった形がいいのかというのはよくわからないけれども、それぞれのテーマに合わせたような課題を持っている方に集まってくるとかいう部分は、より身近な話が聞けるのではないかという気がした。そうすれば更に町民の意見として耳に入ってくるのではないかという気がする。

委員長：それぞれの委員から意見をいただいた。今後の進め方については議会の中で決めているルール変更もありうるということで事務局より助言あれば。

局長（田本尚彦）：今回、意見交換会の振り返りというのは、まず議運の中で振り返りをさせていただいて、そこで出た意見も踏まえて議運ではこういった振り返りをしたと、これを参考に全員協議会の中でどういうふうに考えるかというのを意見をいただいて全体の振り返りというのをできてきたと思う。ここですぐ要領の改正について議運として案を作って次の全員協で出すというような段取りとまでは想定はしていなかった。個別の団体、小さいところで集中的な意見交換できるような方法が効果的ではないかという話があったので、そういった意見を全員協議会の中で話をして議員の皆さん全員でどう考えるか、というところを踏まえたうえで要綱を変える必要があるかどうかという段取りかと思っていた。それと、今の要領を改正しないと個別な部分は実施できないかということ、特にそこまでの縛りはないと思う。委員会の中で検討した部分で運用できるようなところもあったと思う。ただ、問題は個別の団体をピックアップして、年間に3つ4つやろうというふうに、それだけをやることにしてしまうと、今度は案内がこない団体以外の方の一般町民に対して、意見を聞く機会が確保されるかどうかというところはあるのかと思う。今の要領は大きくは町民全体の意見を聞きますというところが大きく看板が出ていて、回数を増やしたり内容を調整できる要領になっていると思うので、例えば今の清水御影という形をやったうえで、個別のものを2つくらいやるというのは今の要領の中でもできないことないのかと思っている。あるいは報告会の中での意見テーマというのを分野に絞ったテーマを2つ設けて、所管委員会に分かれてそこでフリーのディスカッションを来場者とやるというのも方法としてできるのかもしれない。今の意見と現状のミックスというところもイメージできるのかという感じで話は伺っていた。

委員長：ありがとう。

鈴木委員：確かにそうだが、議会報告会をやる前提になっている、今までの形で。それ自体を変えていいかと思っている。芽室町あたりで言えば、町民集めて避難所運営ゲームとかをテーブルごとのディスカッションを町民にしてもらって、要は議員主催の事業である。別に報告じゃなくていいと思う。極端に言えば、議会が運営するもの。報告会が本当に必要なかということもある。報告というよりは

我々がやりたいのは生の現場の声を聞いて、それを吸い上げていく、そしてそこに対して町の足りないところを指摘したり応援したりというところだと思う。逆行するかもしれないけど、報告の意味がなくなっているのではないかと思う。であればもう少し密接にどンドンつながったほうがいいと思う。議会報告会という名前が違うかなという気がしている。その話をしていかななくてはならない。お互い足の引っ張り合いにしかならないから。

口田委員：鈴木議員の言うこともわからないわけではないが、報告会なしで意見交換会だけとなると来る人が限られる。喋りたい、物言いたい人だけが集まってくる。そうでなく報告会となれば行ってみるかとなるけども、反面そういう場面も出てくると思う。団体へ案内を出していると思うが、これは大分効果があると思う。これがなかったら来てない人は大分いると思う。

鈴木委員：議会報告会の今後のあり方についてを含めて、今後とも継続協議していきたいと思う。やる前から言っていると思うが、終わったからこそ。どこの議会も議会報告会をやっているからやるのかという話でもあって、建設的にならないのであればやらない方がいいし、だったらまず手を変え品を変え、形を変え、そろそろ一回変えていかなくてはならないかなと思う。

委員長：いろいろご意見いただきました。これについては今この時点で方向性出すというのは難しいと感じているので、今日はこの程度にとどめてよいか。また次回に協議していただくこととする。次に配布資料についてご意見いただければと思うがどうか。

（「なし」の声あり）

委員長：次に議会報告の内容・時間についてご意見あれば伺うがどうか。

（「なし」の声あり）

委員長：次に質疑応答の内容・時間について、特に時間を延ばすということではないと思うがどうか。

高橋委員：過去の意見交換会を重ねてきて、たぶん今年が時間配分、答弁等々、一番良かったのではないかと思う。やっこの流れが出来上がったのかなと、議員側としても町民側としてもなかなか良かったと思うけれども、その後に聴取した意見等々をしっかりつなげていく流れもつくる必要があると感じた。

委員長：他に意見あるか。

（「なし」の声あり）

委員長：次に意見提言等の聴取の内容・時間についていかがか。

鈴木委員：今回については議員のなり手というところが結局ぼやけすぎてしまっとうまくいかなかったと思う。もう一步踏み込んだ内容の質問の方が意見を言いやすいと思う。今回はテーマについてはちょっと失敗した、合わなかったと思う。

委員長：他に意見ないか。テーマについては来年度以降、状況を判断しながら強く関心を持っていただけるように考えていかなければならないという意見だと思う。

（「なし」の声あり）

委員長：次にアンケート調査の内容についていかがか。改めて目をとおしていただいて特に現時点で何かあれば。

（「なし」の声あり）

委員長：次にその他、次回に向けた検討についてご意見があれば。

（「なし」の声あり）

委員長：それでは報告会と意見交換会については今日の会議をまとめていただいて次回にお諮りをしていきたいと思う。次に議会モニター会議について、令和4年度の議会モニター会議の開催について協議させていただく。開催内容について協議をしていきたいと思う。

鈴木委員：前回やったのが去年。モニター会議は難しいと思っていて、運営の仕方は去年と同じという考え方よりは、もうちょっと何かできるようにしないと、せっかく来てもらっても意味がない。出題の仕方が悪かったのかと思う。モニター会議をやるのはいいけどもやり方はちゃんと考えないとだめだと思う。

委員長：他に意見あるか。

高橋委員：鈴木委員の言うとおりで、去年こちらから議会だよりを渡して、その内容についてのモニターだと思っていたモニターがいて、逆にそれは関係なく議会の審議内容について物申すモニターがいたり、本末転倒な感じだったのは事実だと思う。それはこちらの導き方がまずかったという気もするので、しいて言えばモニターというのは我々議員が知りたいこと、議会が知りたい内容を提示して、それに対する反応をみたいということだと思うので、会議の運営の仕方というのはもう少し考えないと結果的に求めるものが得られずに、モニターの一部の人たちの自己満足だけが得られるような内容になってしまいそうなので、運営の仕方は、例えばアンケートを実際に項目何点かにおいてそれについて聞いていくとか、前段、モニターの一部の人には審議内容の質疑については受けませんと、あらかじめ言うておくぐらいのことがないと、モニター会議自体が混乱してしまうと思う。

委員長：他にがあるか。私自身、去年お話し伺っていて、町政に対しての対応に不満を持っていた人、最初から構えてきているという感じを私はした。一旦休憩する。

【休憩 16：06】

【再開 16：10】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。モニター会議の開催について、モニター委員の方にもその都度協議内容等を委員会の方から提案して、それについて意見を聞くということにすれば、こちらから示した案件には深まった議論がされるのではないかという話であったが、これはいろいろな形で取り組んでみてよりいいものを出していくという部分では、委員に協議内容を提案しながら聞き取っていくというのも一つの考え方だと思う。これについても意見の一つとして聞いておきたいと思う。他に何かいいアイデアがあれば聞きたいがいかがか。

局長：開催の時期というよりも、今お話しがあったテーマを設けて、それを投げかけるような形にしていこうということなので、委員の皆さんに2、3点テーマになる項目をお考えいただいて、次の機会に決めていかないとなかなか決まらないのではという感じがしたので、そういった視点を持っていただいて今日の会議はこのような感じというところにしていただくとありがたい。

委員長：議会モニター会議については、今お話し出ている中で局長の方からご提案ということで、モニター会議における協議テーマについて、委員の方々から次回までにお考えいただいてお示しをいただくということにしたいと思うが異議ないか。

（「異議なし」の声あり）

委員長：それでは当委員会でもう一度協議したうえでということにしたいと思う。次にその他、局長から願います。

局長：その他ということで閉会後の議運が所管する事業の日程である。模擬議会に係る清水高校生との勉強会ということで、前年も6月に実施をしている高校の授業の中に議会運営委員会の委員の皆様に参加していただいて授業を行うというものである。6月28日火曜日、午後2時に役場にご参集いただいて玄関前で公用車乗り合わせにより清水高校に移動したいと考えている。高校では14時15分から15時05分の1単位の中で勉強会を行う。その前の時間帯でこちらから提供している議会に関する資料で高校生が学習した後、議員の皆さんから議会の中でやっていることについてのご意見を聞きたいということであったので、予定をよろしく願います。

委員長：委員の皆さんは日程調整して全員参加をお願いしたい。他にその他あるか。

鈴木委員：所管事務調査についてどうか。

委員長：各委員会の所管事務調査を予算化されている。議会運営委員会としていろいろなもので議会運営に係ることで所管事務調査したほうがいいのかという事があれば内容検討、お諮りしたいと思うがいかがか。

鈴木委員：いろいろ調べてはいたのだが、模擬議会をやっている所は多くなってきている。

先進的な所はまだ調べきれてないが、高校生もいい意見言ってくれて、それを町政に活かしているというところをどうやっているのか、やっているところがあるのかどうか、そこの先進事例を見てみたい。

委員長：今鈴木委員から所管事務調査、これらについて他に何かあるか。休憩する。

【休憩 16：20】

【再開 16：22】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。所管事務調査を実施したい、すべきという意見ということで取りまとめたいと思うがよいか。

（「はい」との声あり）

委員長：副委員長と場所と日にちについて次の議運の時にお諮りできるように協議していきたいと思う。他に何かあるか。

（「なし」との声あり）

委員長：ないようなので、本日の議会運営委員会を閉じる。

【閉会 16：24】